

公表	保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表
----	------------------------

<b>○事業所名</b>	ホッグ東住吉		
<b>○保護者評価実施期間</b>	令和6年11月25日	～	令和6年12月18日
<b>○保護者評価有効回答数</b>	(対象者数)	4	(回答者数) 3
<b>○従業者評価実施期間</b>	令和6年11月25日	～	令和6年12月14日
<b>○従業者評価有効回答数</b>	(対象者数)	2	(回答者数) 2
<b>○訪問先施設評価実施期間</b>	年 月 日	～	年 月 日
<b>○訪問先施設評価有効回答数</b>	(対象者数)	4	(回答者数) 4
<b>○事業者向け自己評価表作成日</b>	令和7年2月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童により様々な障がい特性があり、その特性や児童本人の意向、また保護者様のニーズを踏まえ支援計画を組み様々なケースに事業所で出来得る範囲で最大限対応している点。	保護者様と緊密にコミュニケーションをとる事、児童の日々の様子をよく観察し目標設定を的確に立てられるように取り組んでいます。	思春期など児童の成長度合いによりよりの確な計画を立てれるように取り組んでいます。
2	児童の置かれている環境への配慮、家庭を含めた支援。	児童の置かれている環境の把握、また本人やご家庭の要望や目標を反映させた目標設定とし支援しています。不登校支援については外出の機会創出から不登校解消まで目標設定の難しさが、その点を意識し配慮し支援しています。	様々なケースに対応できるように職員のスキル向上、関係機関との連携強化に取り組んでいます。
3	児童の特性に応じて支援や療育ツールの活用や、訪問先への提案をしている点	姿勢保持や動作の補助となるようなツールを作成や調整をし、訪問先に持参することもあります。	児童の特性をより理解をし、訪問先との連携を深めより困りごとの解消に繋げれるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の支援の質や人間性の成長のための研修や勉強会の機会や実施時間の確保。	求められるスキルが多様なこともあるが、効果的かつ向上できるような研修の中長期的な体系的な研修が少ないこと。	事業所内研修だけでなく、外部の研修開催のアンテナをこれまで以上に張ること、書籍なども取り入れ多角的な視点を持つことが重要と考えています。
2	PT、OT、ST、など専門的な支援をおこなっていない点。総合的な成長や支援を方針としていることもあるが、専門的な支援やプログラムとなっていない点。	PT、OT、STなどの資格所持者がいないこともあるが、個々のニーズを分析しその時点での最善な支援をしているため、事業所として特化した専門性にはなっていないため。	支援の幅を広げるためにも、様々な経験者、様々な資格保持者を取り入れて行くことを検討していきます。
3	訪問時には児童の困りごとや課題の解消などは出来るが、訪問時以外での継続に繋げることに至っていないことがある点。	児童の言動に対しての取り組みについて、支援の方法や他の支援する人でも可能な代替性において連携不足が課題と考えています。	連携に対して準備する内容や継続できることを念頭にした支援方法の模索をしています。

公表

## 保護者からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名 ホッグ東住吉

公表日 令和7年 2月 4日

利用児童数 4

回収数 3

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2	1	0	0		今後も必要に応じて備品等を追加してまいります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3	0	0	0		プライバシーへの配慮は意識し取り組んでいます
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3	0	0	0		支援の方針について丁寧に説明しております
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3	0	0	0		訪問日時については保護者様の意向、訪問先の意向を確認し決めています
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3	0	0	0		経験や支援スキルのある訪問支援員を配置出来ていると思います。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	0	0	0		経験や支援スキルのある職員が支援できていると思います
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	0	0	0		多角的な視野で意見を出し合い分析を行って計画しています
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3	0	0	0		訪問先のご担当者との連携のうえ支援計画に反映させるようにしています
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	0		5領域を組み合わせ支援計画としています
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		支援計画にある目標の進捗と振り返りに今後とも努めます
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		訪問先の方々の想いや手法の聞き取りを行い尊重した上で支援にあたっている。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	0	0	0		時間を確保し丁寧な説明を行っています
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	0	0	0		定期的に支援計画の更新をし、その際にはモニタリングと新しい支援についてご説明しています
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	1	0	1		相談がなくても事業所での事案について助言を行っています
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3	0	0	0		密な情報共有を行い信頼関係を深めています
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	0	0	0		相談しやすい連絡体制を整えるようにしています
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	0	0	0		保護者様や児童のニーズを把握し共感が得られるように支援するようにしています
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	0		内容確認等を含めて迅速に対応出来ています
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	0		保護者様に合わせ様々な手段を導入しています
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		相談しやすい連絡体制を整えるようにしています	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3	0	0	0	訪問支援後に訪問内容と訪問先への報告や共有事項を連絡するようにしています
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3	0	0	0	訪問支援後に訪問内容と訪問先への報告や共有事項を連絡するようにしています
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	1	0	1	行事予定等のお知らせを毎月発信しています。自己評価はホームページにて掲載しております。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	0	扱いには厳しく指導し取り組んでいます
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3	0	0	0	緊急時の対応については訪問先との事前確認が不十分な点もあり今後の課題と考えています
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0	安全計画に基づいて毎月実施事項を決め実施しています
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3	0	0	0	とても楽しみにしています 今後も訪問先で困りごとや課題が減ることを目標に支援してまいります
	28	事業所の支援に満足していますか。	3	0	0	0	とても満足しています 今後も自己肯定感を育み自分自身のために生きる力を養い身に付けることが出来るように支援していきます

公表 訪問先施設からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	令和7年 2月 4日
ホッグ東住吉	利用児童数	4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	2	0		児童の成長や変化に伴い目的や目標の変化にも丁寧に説明していきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	2	0		今後も知識やスキル向上のための研修参加より進めたいと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	0	1		ご質問やご相談には丁寧に説明するようにしています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	0	1		今後も課題や困りごとの解消に支援スキルを向上させてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3	1	0		今後も課題や困りごとの解消に支援スキルを向上させてまいります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表

## 保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ホッグ東住吉		令和7年 2月 4日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		児童の特性や訪問時に必要な備品等を揃える ようにしています。	今後も必要に応じて備品等を追加してまいり ます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員の配置は適切であり、経験のある訪問支 援員を配置出来ていると思います。	ご要望により訪問日が増えるなどの場合は、 訪問支援員数を増やすことを検討していきま す。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		児童により様々な試みをし振り返りをするよ うにしています	訪問時の様子など課題把握の共有度を今後も 上げていく必要があると考えています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年実施しており共有しています	様々なニーズを把握は今後も注力してまいり ます
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		自己評価の対象は全従業員とし、面談は定期 的に行っています	毎週意見を交わすミーティングを実施し業務 改善に繋げるようにしています
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○	現時点では第三者評価を導入していません	今後も引き続き検討してまいります
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		積極的に外部研修を取り入れています	研修機会に十二分に参加できてはいなく、頻 度を上げる必要がある。また参加した研修内 容の社内共有をより進めたいと思います。
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○		多角的な視野で意見を出し合い分析を行って 計画しています	家庭での過ごし方などを確認することが課題 と認識しています
	9	保育所等訪問支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画を作成するにあたって担当職員等との意 見交換や会議を行い、保護者様のニーズなど を考慮し作成しています	学校や家庭での過ごし方や方向性を把握する こと、連携することの精度を高めることが難 しい点もあり、課題としています
	10	保育所等訪問支援計画を作成するには、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先のご担当者との連携のうえ支援計画に 反映させるようにしています	今後も引き続き連携するようになっています
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		支援計画を中心に支援しています	支援計画にある目標の進捗と振り返りに今後 とも努めます
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールに修正が必要かどうかを 常に考えています	アセスメントツールは統一し使いやすいと思 います
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○		5領域を組み合わせ支援計画としている	児童により必要な支援を今後も反映させるよ う検討してまいります
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		支援計画を中心に支援しています	支援計画にある目標の進捗と振り返りに今後 とも努めます
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○		日々共有できていると思います	細かい調整や確認をより出来るように改善し ていきます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		日々共有できていると思います	気づいた点や課題などの共有レベルを上げて いきたい
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		訪問先の方々の想いや手法の聞き取りを行い 尊重した上で支援にあたっている。	訪問先での児童の日々の変化をいかに連携で きるかが課題と考えています。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		より細かく誰が見てもわかりやすい記録をと るよう常に意識しています。	記録の理解度をこれまで以上に進める必要が ると考えています。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	○		モニタリングを実施し見直しをしております	より最適な計画を模索してまいります	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童ごとの担当職員が出席しています	今後も引き続き務めてまいります
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と積極的に連携するようにしています	関係機関との連携においてその幅を広げることが課題と考えています
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		現在は就学時移行の対象の児童が在籍していません。 対象児童が利用の際は連携していきます	現在は就学時移行の対象の児童が在籍していません。 対象児童が利用の際は連携していきます
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		必要に応じて連携し研修にも参加しています	専門機関との連携を強化し支援に生かしていきます
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加しています	今後も引き続き務めてまいります
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		密な情報共有を行い信頼関係を深めています	児童それぞれの課題の把握をできるように努めます
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		相談がなくても事業所での事案について助言を行っています	今後も様々なご事案に対し、児童への支援等に助言を行ってまいります
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		時間を確保し丁寧な説明を行っています	利用開始後も不明な点など丁寧に説明してまいります
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問先にも時間を確保し丁寧な説明を行っています	児童の成長や変化に伴い目的や目標の変化にも丁寧に説明していきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成にあたっては日々接している中で児童の要望、また保護者の方のニーズを把握するようにしています	家庭環境や児童の特性によって児童の最善の利益が何か、これまで以上に精査する必要があると感じています
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		定期的に支援計画の更新をし、その際にはモニタリングと新しい支援についてご説明しています	児童の障がい特性や置かれている環境により計画の修正などについても注力していきます
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		相談しやすい連絡体制を整えるようにしています	今後も継続して様々なご相談に応じ、児童への支援等にも助言を行ってまいります
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		現在父母の会等を実施はしていません	意見交換会など今後検討してまいります
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		内容確認等含めて迅速に対応出来ています	今後も引き続き務めてまいります
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		行事予定等のお知らせを毎月発信しています	活動中や活動後の様子を伝えられるツールについて検討していきます
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		扱いは厳しく指導し取り組んでいます	今後も引き続き務めてまいります
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		日々の児童との関わりの中で、良かった点、悪かった点、改善すべき点などを振り返っている	今後もご要望に応じて導入検討をしていきます
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		相談しやすい連絡体制を整えるようにしています	今後も継続して様々なご相談に応じ、児童への支援等にも助言を行ってまいります
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問先の担当者の都合により実施後の報告を行っております	今後も引き続き務めてまいります
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		より細かくわかりやすく共有できるよう下準備を行っている	今後も引き続き務めてまいります
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		扱いは厳しく指導し取り組んでいます	今後も引き続き務めてまいります

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		積極的にコミュニケーションを図るという点を常に意識している	今後も継続して様々なご相談に応じ、児童への支援等にも助言を行ってまいります
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備しております	周知方法についてホームページへの掲載等を検討していきます
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいて毎月実施事項を決め実施しています	毎月決められた計画を実施していますが、より適切な内容への変更を検討していきます
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事案の共有できるよう努めています	今後も引き続き努めてまいります
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修への参加や事業所内勉強会をおこなっています	研修参加後の共有をより進めてまいります
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		必要な児童においては保護者様同意とともに出来ています	今後も必要に応じて取り組んでいきます